



第1回 さいたまトリエンナーレ開催

3年に1度の国際芸術祭さいたまトリエンナーレ2016が開幕する。アーティストによる作品だけでなく、市民参加のイベントもあり、鑑賞するだけでなく、参加する芸術祭として行われる。テーマは、「未来の発見」。このイベントを契機に、市民の文化芸術活動が豊かになり、地域の活性化や生活の中に癒しや潤いをもたらす街になることを期待したい。現在、プレイベントを開催中。

名称 **さいたまトリエンナーレ2016**

テーマ **未来の発見！**

会期 **2016年9月24日(土)～12月11日(日)**

主な開催エリア ①与野本町駅～大宮駅周辺 ②武蔵浦和駅～中浦和駅周辺 ③岩槻駅周辺



詳細は、HP <https://saitamatriennale.jp/>

小柳よしふみの地域活動



女子留学生日本語弁論大会



高校生議会



ごみゼロ運動



精神障がい者家族会と面談



浦和おどり



地域の夏祭り

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ <http://koyanagi.jp/>

ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

ご来場をお待ちしております！

第22回市政報告会

浦和パルコ 10F

日時：平成28年 **11月20日(日)**

18:30～19:45

会場：浦和コミュニティセンター
第13集会室

入場無料



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

小柳よしふみ
市政レポート
2016.8 vol.22

浦和っ子

イベントの秋を 飛躍の秋にするために！

残暑お見舞い申し上げます。暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑い日々が続いております。皆様におかれましては、どうかご自愛のほど、お祈り申し上げます。

さて、早いもので平成28年も後半戦に入っています。参議院議員選挙や突然の東京都知事選挙、そしてリオデジャネイロ・オリンピックと大きな話題の尽きない年となっております。スポーツ熱が高まっているオリンピック後や、18歳選挙権が実現した選挙の余韻が冷めないうちに、スピード感を持って関連施策を進めることが大事です。

また、本市においては、秋に大きなイベントがいくつも控えております。各地域のイベントの他に、第4回となるさいたまクリテリウム、昨年からフルマラソンとなったさいたま国際マラソン、そして本年第1回目の国際芸術祭の開催となるさいたまトリエンナーレ2016などがあります。各事業が、市民生活、市民の幸せの向上につながるものにしなければなりません。そのためには、各事業の展開が、街の将来の発展に向けたビジョンや施策と、しっかり関連性を持って進める必要があります。また、その評価も短期的な視野の狭いものであってもいけないと考えます。「イベントの秋を飛躍の秋にするために」、多角的な視点からしっかりとチェックをしながら、提言も併せて行ってまいります。

最後になりますが、この時期は、夏の疲れが出てくる時期でもあります。どうか体調にはご留意頂き、皆様にとって素敵な実りの秋となりますよう、お祈り申し上げます。



- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 保健福祉委員会 委員長
決算特別委員会
オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

参議院選挙で18歳選挙権が実現

改正公職選挙法が6月19日施行となり、この参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上になった。全国では約240万人、本市では24,889人が新有権者となり、18歳の投票率は、全体投票率を大きく上回った。(関連記事 中面)



浦和駅・さいたま新都心駅にホームドア設置

両駅の京浜東北線1、2番線ホームにホームドアを設置する。JR線内では、県内初。JR東日本の工事費の一部として市より補助金総額1億2千万円を交付。工事はまもなく開始され、来年夏までに完成予定。



TOPICS

第1回さいたまトリエンナーレは 9月24日から

国際芸術祭としてさいたまトリエンナーレ2016が今秋開幕する。テーマは、「未来の発見」。現代アートを中心としたプロの芸術作品とともに市民参加プロジェクトもある。開催期間は、9月24日(土)から12月11日(日)。(関連記事 中面)



別所沼のうなこちゃん 石像再設置

本市の観光大使にもなっている「浦和うなこちゃん」石像が、「浦和のうなぎを育てる会」から再寄贈を受け、別所沼公園内に再設置された。昨年11月から行方不明になっていた。



6月定例会の総括

平成28年度最初の定例会である6月定例会は、28議案、請願4件の審査を終えて終了した。本市では、さいたま市PFI等活用指針に基づいて、一定基準の施設にはPFIを検討することになっている。PFIとは、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、公共施設等の設計、施工、維持管理、運営等を行う官民共同事業のことである。

今定例会においては、大宮区役所新庁舎整備、併設される新大宮図書館の指定管理に関する契約議案が承認された。審議の過程で、PFIにおける業者の選定についての在り方などが議論となった。公共施設のPFI活用については、コストの平準化やサービス水準の向上など民間活力の効果を期待する

るものであるが、20年といった長期契約の中できちんとそれが確保できるのかをしっかりと確認する必要がある。また、入札への

準備には金額的にも手間も非常にかかるために、有効な競争環境を確保できるかも重要な観点となると考えている。本議案については、妥当であったと考えているが、今後の推移を注視する。

また、新副市長に日野徹氏が就任し、3副市長体制が維持されている。



保健福祉委員会

本年度6月議会より、小柳よしふみは保健福祉委員長となりました。

障がい者福祉、保健・医療などの保健福祉局所管事項、若者支援施策などの子ども未来局所管事項を担当いたします。大変に幅広い分野を所管するとともに、市民生活とまさに密着した委員会でもあります。

本年度の委員会の活動テーマは、子ども・子育て支援です。待機児童問題が注目される中、保育所などの施設の整備は急務です。一方で、数年後には子どもの数が減少することが推定されている中で、子育て自体をサポートする仕組みづくり、また困難を抱えている家庭への支援の在り方なども視野に入れた研究です。

議案の審査、関連施策の検討の他、委員会テーマについての取り組みもいたします。

補正予算議案

補正予算議案は、一般会計、病院事業特別会計、特別会計を含めた4議案が承認された。参議院議員選挙の対応のために議決を早めた議案は、駅周辺や大型商業施設など、日常的に人が集まる場所への、臨時期日前投票所の増設をするもの。(右面関連記事参照)

その他、補正予算の内容としては、介護ロボット等の導入支援や、老人福祉施設の整備促進、保育士の業務負担軽減のためのビデオカメラ設置への補助、65歳以上の高齢者世帯への振り込み詐欺防止のための自動録音装置貸出事業などを内容としている。(右面関連記事参照)

また、病院事業会計では、市立病院の建て替え関連の補正予算である。市立病院は、診療は継続しながら建て替えを進め、平成29年5月より工事開始、平成32年1月の開院を予定している。

参院選 18歳の投票率60.24%!

さいたま市全体の投票率(県選出議員選挙)は、53.58%で、前回より2.8ポイント上昇。18歳の投票率は、60.24%で全体投票率を大きく上回った。全国平均は、51.17%、埼玉県では59.54%。ただし、19歳となると50.75%、20代の投票率は36.33%となり、若年層の低さが目立った。

今選挙から、浦和駅東口駅前パルコ10Fの浦和コミュニティセンター(浦和区、南区)やイオンモール与野(大宮区、中央区、桜区)、イオンモール浦和美園(緑区)といった駅前施設やショッピングセンターでの期日前投票所が設置された。3日間で10,867人の利用があった。法改正により可能になった共通投票所の設置は見送られた。

また、若年層の投票率への対策とともに、高齢化が進む中、高齢者が投票に行きやすい環境の整備も急務である。



浦和コミュニティセンター期日前投票所



振り込み詐欺急増中につき注意!

社会問題になって久しい振り込み詐欺は、いまだ被害が収まらない。本市内における被害件数、被害額ともに、平成25年から平成27年にわたって増加傾向にある。中でも、70代以上の高齢者の被害が多い。若年層の被害は、ネット関係の振り込み詐欺が増加中。大宮区、浦和区、見沼区の件数が目立つが、被害は市内全域に。



振り込み詐欺被害の推移

	件数(件)	60代以下	70代以上	被害額
平成25年	129	28	101	2億5453万8000円
平成26年	225	36	189	6億4335万9000円
平成27年	246	49	197	7億3494万1621円



さいたまクリテリウムは10月29日開催

今回で第4回目となるさいたまクリテリウムが、さいたま新都心を会場に開催される。これまでツール・ド・フランス総合優勝2回を誇るクリス・フルーム選手(スカイ所属)の出場が決定した。例年通りトップ選手が間近に見られる大会となる模様。市域でより広く経済効果を実現するために、有名選手等を地域の商店街やイベントなどに出演させるなど、効果的なコラボを実現して行くことが必要だと考える。



熊本地震ボランティア活動



熊本地震ボランティア活動

最大震度7が4月14日、16日と続けて発生したのが平成28年熊本地震。直接死、関連死等を含めて80名を超える大きな被害となった。熊本県は、地震係数が0.9あるいは0.8となっていて国交省が示す地震が発生しにくい地域とされていた(本市は1.0)。いつどこで地震が起きてもおかしくないということ。

さいたま市は、昨年震災対策の推進地域、つまり危険な地域を示した。その英断には敬意を表すところだが、次は、その地域に対する具体的な対策の推進が不可欠。効果的な地震対策は、明確。建物や家具が倒れることで人が下敷きにならない、火事を起こさない。この2点で大きな減災効果が期待できる。具体的な策の推進を、すぐに地域とともに進めるべき。

また、熊本の素晴らしい点のひとつは、街の中心付近に、再開発事業のために移転した広大な建物の敷地を広場として活用しており、そこがボランティアセンター機能の場所となっていた。こういったスペースの確保は、重要な備えであると考えられる。